

洪水

氾濫の種類

● 内水氾濫

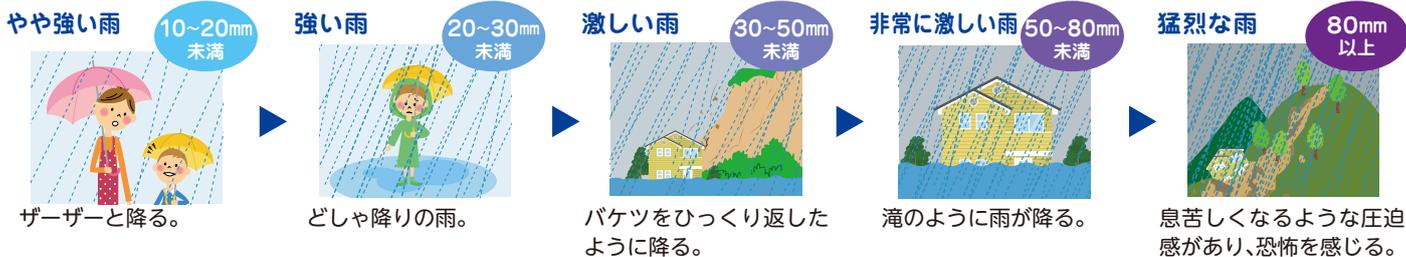
通常、雨水は水路などを通して川に排水されるが、ゲリラ豪雨など水路の排水能力を超える雨が降ったときに川へ流れず水路からあふれて起こる洪水。

● 外水氾濫

大雨により、川の水かさが増し堤防を越える、あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれて起こる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すため、最大の注意が必要。



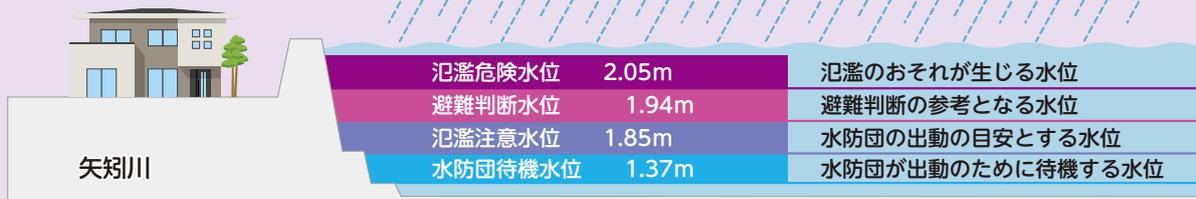
雨の強さと降り方(1時間降雨量)



● 河川水位情報【矢矧川 前牟田橋】

http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/sp/status/river_status_39.html?unq=1705990267090

福岡県河川防災情報で矢矧川前牟田橋の水位を確認できます。川沿いでは最新の情報に注意し、すばやい行動を心がけましょう。



● 洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/zoom:13/lat:33.841905/lon:130.623407/colordepth:normal>

洪水警報の危険度分布は、洪水警報を補足する情報です。中小河川(水位周知河川及びその他河川)の洪水害発生危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。



色が持つ意味	状況	住民等の行動の例 ^{*1-2}	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫 大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に実況で到達	重大な洪水災害が切迫。洪水災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立ち退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!	緊急安全確保^{*5}	5相当
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~				
<b>危険</b> 3時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。 ^{*3}	<b>避難指示</b>	<b>4相当</b>
<b>警戒</b> 3時間先までに警戒基準に到達すると予想	洪水災害への警戒が必要な状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。 ^{*4} 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	<b>高齢者等避難</b>	<b>3相当</b>
<b>注意</b> 3時間先までに注意報基準に到達すると予想	洪水災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	<b>2相当</b>
今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

*1 洪水キキクルに関わらず、自治体から避難情報が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発表された場合には速やかに避難行動をとること。  
 *2 洪水予報河川の外水氾濫については、洪水キキクルではなく、河川管理者と気象台が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえて避難情報が発令されるため、それらに留意し、適切な避難行動を心がけること。  
 *3 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、現地情報を活用した上で、洪水キキクル(紫)を参考に安全な場所へ避難する。  
 *4 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、洪水キキクル(赤)を参考に高齢者等は安全な場所へ避難する。  
 *5 災害が発生・切迫している状況を市町村が必ず把握することができるとは限らないこと等から、緊急安全確保は必ず発令される情報ではない。また、警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。